

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月6日		記入者	近藤幸雄	連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	教育総務部		課名	相模湖教育課	課長名	深澤和則
平成19年度部名	教育環境部		課名	相模湖教育課	課長名	深澤和則
事務事業名	相模湖社会体育振興会助成事業					
予算上の事務事業名	地域体育活動費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					
施策名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市補助金等に関わる予算執行に関する規則						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
相模湖町内のスポーツ、レクリエーションの振興を図り、健康で明るく、豊かな生活を促進する。(与瀬・小原地区、内郷、千木良地区社会体育振興会の3団体)				市相模湖社会体育振興会連絡協議会1団体、地区社会体育振興会3団体		
市相模湖社会体育振興会連絡協議会事業・・・ソフトバレーボール大会の開催、役員会及び総会等の開催 各振興会事業・・・町民運動会、サマーフェスティバル、ウォーキング教室、日帰りスキー教室等						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
旧津久井郡の3町でも同様の団体に補助している。						
8 事業費の推移 <span style="float:right">〔単位：千円〕</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	405	405	405	
一般財源	0	0	405	405	405	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	65	65	65	
事業コスト合計	0	0	470	470	470	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	地域体育活動事業			対象名称 と単位	助成金	
年 度		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	405	405	405	
対 象 数	0	0	3	3	3	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	135,000	135,000	135,000	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	実施事業数の増加割合 (%)	指標式と指標の説明	前年度事業数÷今年度事業数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	9.0		
目標	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	90.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	連絡協議会主催のソフトバレーボール大会参加者増加率	指標式と指標の説明	前年度参加者数÷今年度参加者数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	85.0		
目標	0.0	0.0	90.0	90.0	95.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	94.4		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		旧相模湖体育協会に所属する団体として、これまで地域に密着した活動に存在意義は認められる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
地域におけるスポーツ、レクリエーション活動の活性化に向けて、幅広い事業展開が必要である。			市体育協会や体育指導委員などが存在する中であって、将来的な当該団体のあり方の検討が必要である。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			